

見分けられなかった
——なんでも鑑定団

(和光・迷人)

■投稿先
〒104・8661
東京・晴海支店私書
朝日新聞「声」
FAX 0570・01357
03・3248・03
メール tokyo-koe
com

▶550字以内。「朝日」
通に2句以内▶住所
齢、性別、職業、電
帯電話も)明記▶実
の投稿欄との二重投
掲載のもの、メール
ファイルはご遠慮下
電子メディアに収録

てもアウトだ

前とのつながり
い。山口組が昭
の興行に進出し
される。
がテレビに移っ
になったり、争
たりと、いろん
れしてきた。多
妻の肥やし、と
た。

そんな時代では
でもわかつてい
も問わずにはおかない。
鳥田さんは7年前、傷害事件
で30万円の罰金刑を受けたこと
がある。このときは2カ月余の
謹慎で復帰し、「早すぎる」と
の批判も受けていた。
視聴率がとれる人気者なら、
多少の不祥事は形ばかりの謹慎
で済ませ、よからぬうわさには
目をつむりたい。そんな空気が
テレビ局にあるのだとしたら、
お笑い番組にも笑えない。

いる。大相撲も野球賭博事件を
機に、関係断絶を迫られた。
暴力団に対して、より厳しい
態度で臨もうという意識が社会
全体に強まっている。それだけ
に、この一件は看過できない。
日本弁護士連合会の対策チー
ムでは、芸能界の暴力団排除が
不十分とみて、昨年度から、テ
レビ局などを対象にヒアリング
を始めていたという。

君。骨髄移植でしか救えない白血病で、
二度と硬球を握ることはできなかった。
3年前の夏にやって来たもう一人の
君。同じ病で抗がん剤の副作用に苦しん
だけれど、回復してグラウンドに帰って
いった。地方大会で最後の打者になった
感ずる。成果を求めて医師は都会に集ま
る。でも、医学は人に寄り添い、人を幸せ
にするために変化してきたのではない
か。僕たちの仕事は一人でも多くの笑顔
を取り戻すこと。球児の君たちが教えて
くれた尊いものを僕は決して忘れない。

国際NGOは日本の活力源



国際人道NGOのJEN
(本部・東京、木山啓子事務
局長)のスタッフが宮城県石
巻市に入ったのは、3月中旬
のことだった。
いつもは、アジアやアフリ
カへの緊急救援を手がけてい
る。しかし、東日本大震災の
惨状を見過ごせないと思っ
たから現地本部をつくり、食料
や生活用品を配ってきた。
今月、石巻市を訪ねた。ス
ーダンでの活動経験のあるス
タッフ、ボランティアに駆け
つけた外国人や日本人学生ら
が走り回っていた。
地元の若者も10人以上い
る。津波で絵画教室の職を失
い、いまはJENで働く本田
千華さん(26)は「復興を手伝
えてうれしい」と話した。
被災地に入った国際人道N
GOは20団体を超える。東ね
役のジャパン・プラットフォーム
(JPF)に内外の企業

や個人から集まった約65億円
の寄付が活動の元手だ。
国境を軽々と越えて、貧困
や紛争、災害に苦しむ人々に
手を差し伸べる。平和や人権
問題にも発言する。彼らの活
動の場はどんどん広がる。
そんなNGOの活躍に呼応
するかのよう、日本政府の
途上国援助(ODA)でも最
近、新しい動きがあった。
ポリオ撲滅のために、国際
協力機構(JICA)がパキ
スタン政府に融資した50億円
について、その返済を米国の
ゲイツ財団が肩代わりすると
申し出たのだ。
向こう2年間、子どもへの
ワクチン接種を、パキスタン
政府が計画通り行うことが条
件だ。パキスタン政府は早
速、大統領が先頭に立って接
種運動を始めるという。
マイクロソフトの創業者で
財団を率いるビル・ゲイツさ

んは衛星テレビ回線を使った
記者会見で「世界のポリオ撲
滅まであと一歩。両国の努力
を後押ししたい」と語った。
JICAの緒方貞子理事長
は「震災の被害を受けてなお
日本が対外支援を続けていく
姿勢を示したい」と応じた。
今月はアフリカの米栽培や、
アフガニスタンの農村開発で
も、それぞれ国際NGOとの
連携を決めている。
とはいえ日本の対外援助は
減り続けている。今春の補正
予算論議で私は、これ以上の
ODA削減はすべきでないと
考え、論説委員室でそう唱え
たが、財政難から削減やむな
しという声に押された。
大震災で日本がますます内
向きになってはいけぬ。政
府と国際NGOは互いに連携
し、日本の活力を呼び覚まし
ていってほしい。

(国際社説担当)

社説 余滴

わきさか 協阪
のりゆき 紀行